

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.188

2022年9月期調査



<調査要項>

・調査時点	2022年	9月上旬	
・調査対象期間	2022年	7-9月実績	
	2022年	10-12月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	447社 (有効回答率99.3%)	
・業種別企業数	製造業	136社、卸売業	68社
	小売業	92社、運輸・サービス業	57社
	建設業	67社、不動産業	27社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

7-9月の概況

●当金庫取引先の景況感は前期から小幅悪化

当金庫取引先の2022年7-9月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の12.3%で前期(2022年4-6月期15.7%)から▲3.4ポイント、「悪い」は29.5%で前期(同31.3%)から▲1.8ポイント。全業種総合の業況判断DIは、前期▲16から▲1ポイントの▲17となり、前期から小幅に悪化した。

業種別で見ると、製造業の業況判断DIは、前期▲10から+2ポイントの▲8、非製造業の業況判断DIは、前期▲18から▲3ポイントの▲21となった。

●来期は改善する見通し

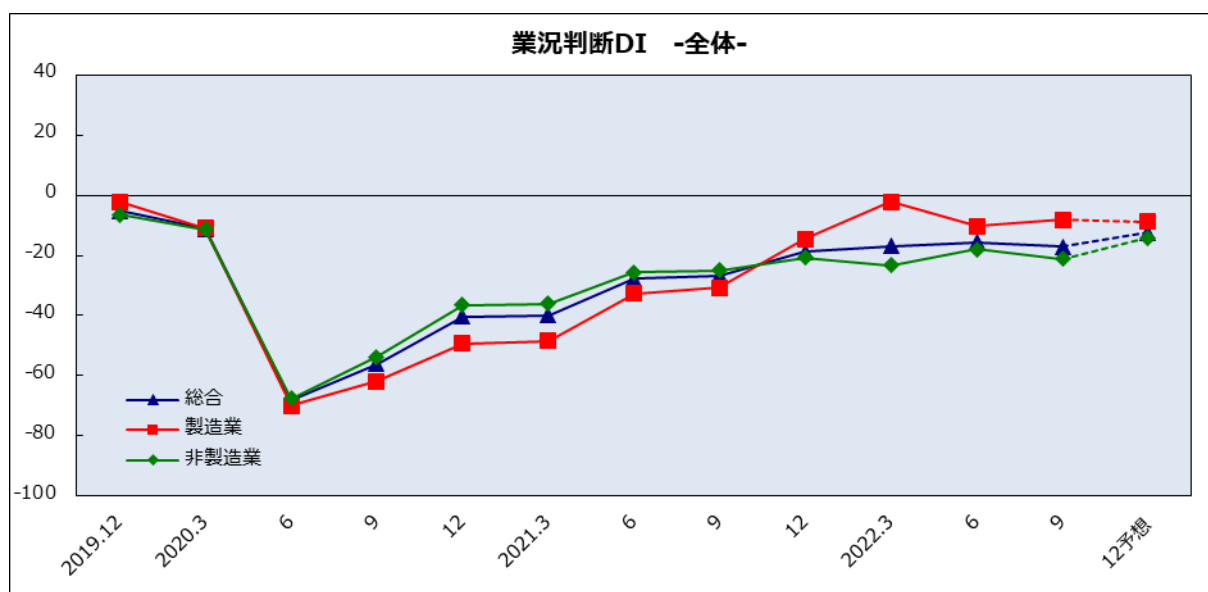
来期(2022年10-12月期)の全業種総合の予想業況判断DIは、今期▲17から+4ポイントの▲13と改善する見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断DIは今期▲8から▲1ポイントの▲9、非製造業は今期▲21から+7ポイントの▲14となる見通しである。

■最近の業況判断DIの推移

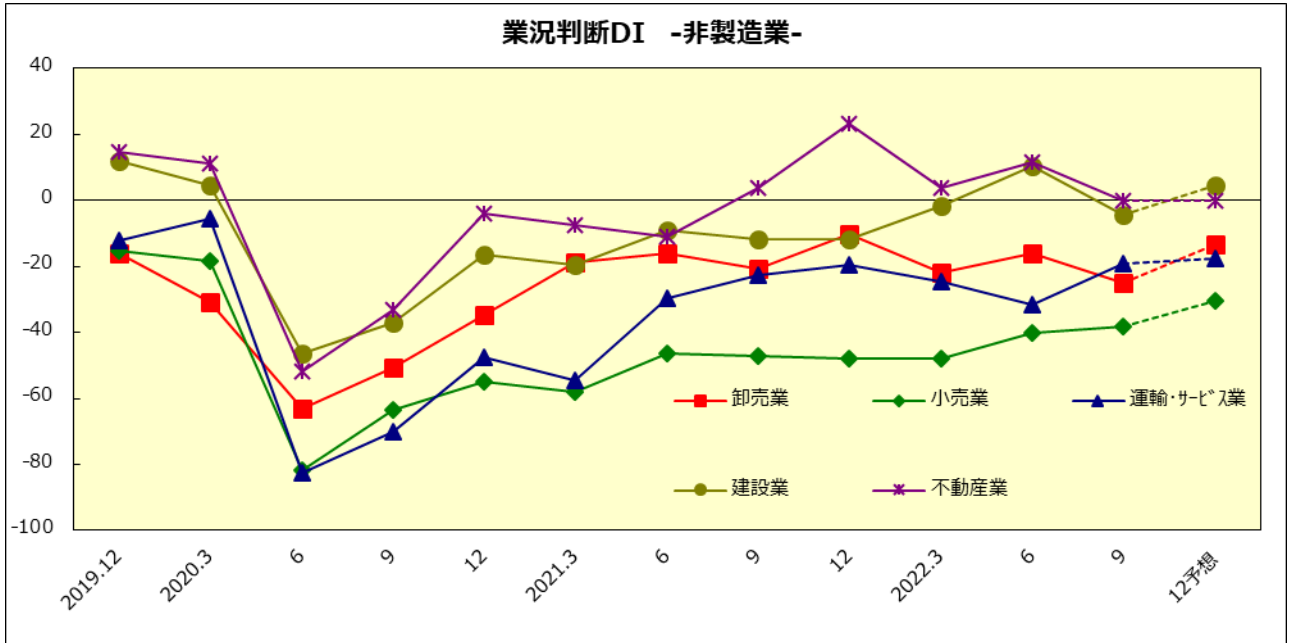
・業況判断DI(総合)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
総合 (447社)		-27 (↗)	-19 (↗)	-17 (↗)	-16 (↗)	-17 (↘)	-13 (↗)
製造業 (136社)		-31 (↗)	-15 (↗)	-2 (↗)	-10 (↘)	-8 (↗)	-9 (↘)
非製造業 (311社)		-25 (↗)	-21 (↗)	-23 (↘)	-18 (↗)	-21 (↘)	-14 (↗)

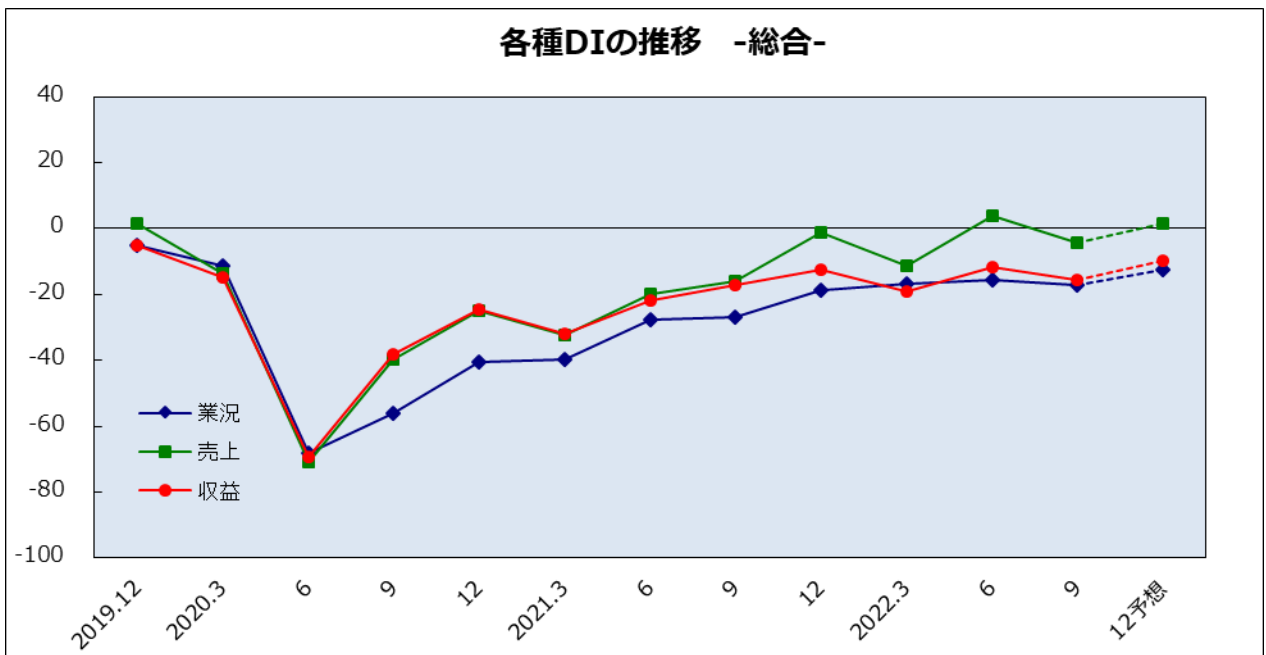


・業況判断 DI (非製造業)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
卸売業 (68社)		-21 (↓)	-10 (↗)	-22 (↓)	-16 (↗)	-25 (↓)	-13 (↗)
小売業 (92社)		-47 (↓)	-48 (↓)	-48 (→)	-40 (↗)	-38 (↗)	-30 (↗)
運輸・サービス業 (57社)		-23 (↗)	-20 (↗)	-25 (↓)	-32 (↓)	-19 (↗)	-18 (↗)
建設業 (67社)		-12 (↓)	-12 (→)	-1 (↗)	10 (↗)	-4 (↓)	4 (↗)
不動産業 (27社)		4 (↗)	23 (↗)	4 (↓)	12 (↗)	0 (↓)	0 (→)



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●2 四半期ぶりの改善

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の17.6%で前期(21.2%)から▲3.6ポイント、「悪い」は25.7%で前期(31.4%)から▲5.7ポイント。業況判断DIは前期▲10から+2ポイントの▲8となり、2四半期ぶりに小幅に改善した。

来期は一般機械器具、食料品など5業種で改善、金属製品、輸送用機械器具など8業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲8から▲1ポイントの▲9と小幅に悪化する見通しである。

●今期は21業種中、9業種で改善、9業種で悪化

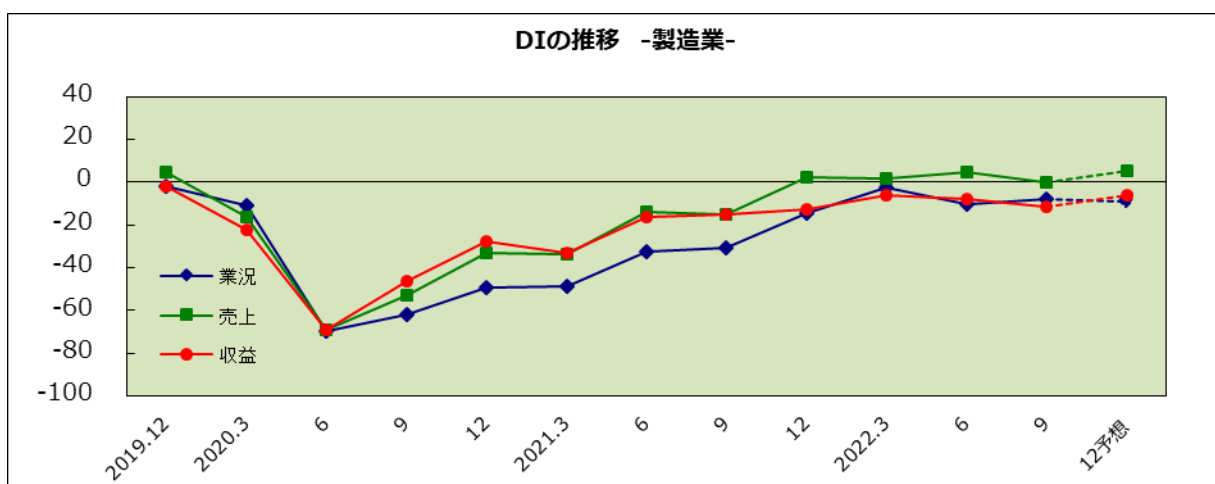
食料品、電気機械器具など9業種で改善、金属製品、一般機械器具など9業種で悪化した。

21業種中…業況改善9業種 / 業況横這3業種 / 業況悪化9業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
金属製品 (19社)		-47 (ㇿ)	-17 (ㇿ)	0 (ㇿ)	0 (→)	-5 (ㇿ)	-16 (ㇿ)
一般機械器具 (16社)		-47 (ㇿ)	-7 (ㇿ)	6 (ㇿ)	-6 (ㇿ)	-13 (ㇿ)	-6 (ㇿ)
食料品 (13社)		-64 (ㇿ)	0 (ㇿ)	7 (ㇿ)	-29 (ㇿ)	-15 (ㇿ)	0 (ㇿ)
輸送用機械器具 (12社)		8 (ㇿ)	-8 (ㇿ)	25 (ㇿ)	0 (ㇿ)	-17 (ㇿ)	-25 (ㇿ)
電気機械器具 (8社)		-13 (ㇿ)	-38 (ㇿ)	-13 (ㇿ)	-38 (ㇿ)	0 (ㇿ)	-13 (ㇿ)
皮革製品 (8社)		-50 (ㇿ)	-38 (ㇿ)	-13 (ㇿ)	25 (ㇿ)	38 (ㇿ)	38 (→)
プレス・メッキ (7社)		-14 (ㇿ)	14 (ㇿ)	14 (→)	-14 (ㇿ)	0 (ㇿ)	14 (ㇿ)
建築用金属製品 (7社)		-14 (ㇿ)	0 (ㇿ)	0 (→)	-14 (ㇿ)	14 (ㇿ)	0 (ㇿ)
出版・印刷 (6社)		-17 (ㇿ)	17 (ㇿ)	-50 (ㇿ)	-33 (ㇿ)	-50 (ㇿ)	-50 (→)
窯業・土石 (5社)		0 (ㇿ)	0 (→)	40 (ㇿ)	40 (→)	0 (ㇿ)	0 (→)
繊維製品(靴下) (5社)		-80 (ㇿ)	-80 (→)	-75 (ㇿ)	-60 (ㇿ)	-40 (ㇿ)	0 (ㇿ)

調査員のコメント

- ・設備の更新時には、カーボンニュートラルに対応した製品の導入を進めている。(食料品)
- ・新型コロナ、ロシア・ウクライナ紛争等により先行きが不透明であるため、業容拡大よりも収益を最優先に考えた経営に転換する方針。(電気機械器具)
- ・原子力発電部品の受注が減少しているため、火力発電部品の受注確保を増やしている。(プレス・メッキ)



● 2 四半期ぶりの悪化

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 7.4%で前期(11.8%)から▲4.4ポイント、「悪い」は 32.4%で前期(27.9%)から+4.5ポイント。業況判断 DI は前期▲16 から▲9ポイントの▲25 となり、2 四半期ぶりに悪化した。

来期は機械器具、農畜産物・水産物など 6 業種で改善、金属材料、化学製品など 3 業種で横這いと予想しており、予想業況判断 DI は今期▲25 から+12ポイントの▲13と改善する見通しである。

● 今期は 9 業種中、1 業種で改善、6 業種で悪化

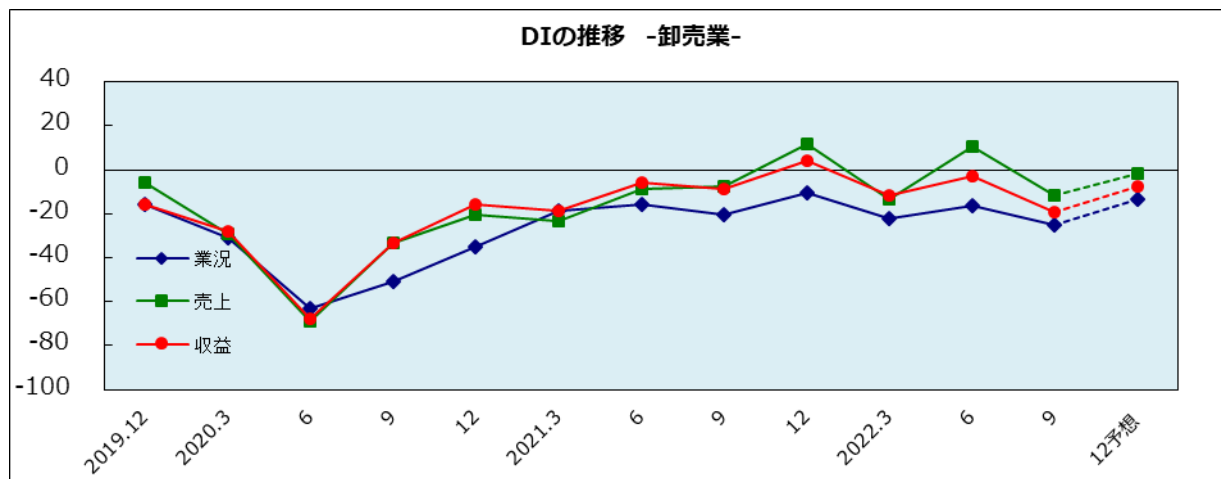
化学製品で改善、機械器具、農畜産物・水産物など 6 業種で悪化した。

9 業種中・・・業況改善 1 業種 / 業況横這 2 業種 / 業況悪化 6 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
機械器具 (19社)		-63 (↓)	-16 (↑)	-21 (↓)	-21 (→)	-26 (↓)	-21 (↑)
農畜産物・水産物 (10社)		-27 (↑)	0 (↑)	-60 (↓)	-20 (↑)	-30 (↓)	-10 (↑)
建築材料 (9社)		0 (↑)	25 (↑)	0 (↓)	-11 (↓)	-22 (↓)	0 (↑)
飲食料品 (9社)		-33 (↑)	-33 (→)	-22 (↑)	-11 (↑)	-22 (↓)	-11 (↑)
金属材料 (6社)		33 (→)	0 (↓)	-17 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)
化学製品 (3社)		-25 (↑)	-33 (↓)	-33 (→)	-100 (↓)	-67 (↑)	-67 (→)
衣服身回品 (3社)		-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-67 (↓)	-33 (↑)
再生資源 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
家具建具じゅう器 (1社)		0 (→)	-100 (↓)	-100 (→)	0 (↑)	-100 (↓)	0 (↑)
その他 (6社)		25 (↑)	0 (↓)	17 (↑)	17 (→)	0 (↓)	0 (→)

調査員のコメント

- ・白浜への中央卸売市場移転にあたり、市場内の事業者で定期的に打ち合わせを行い、準備を進めている。 (農畜産物・水産物)
- ・食品ロスの取組みについて、メディア(テレビ、ラジオ)を通して PR している。 (農畜産物・水産物)
- ・原油高でガソリン代が増加しており、今後収益に影響する可能性がある。 (飲食料品)



● 2 四半期連続の改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 7.6%で前期 (7.6%) から横這い、「悪い」は 45.7%で前期 (47.8%) から▲2.1ポイント。業況判断 DI は前期▲40 から+2ポイントの▲38 となり、2 四半期連続で改善した。

来期は衣服身回品、飲食店など 3 業種で改善、飲食料品、自動車など 9 業種で横這いと予想しており、予想業況判断 DI は今期▲38 から+8ポイントの▲30 と改善する見通しである。

● 今期は 12 業種中、2 業種で改善、1 業種で悪化

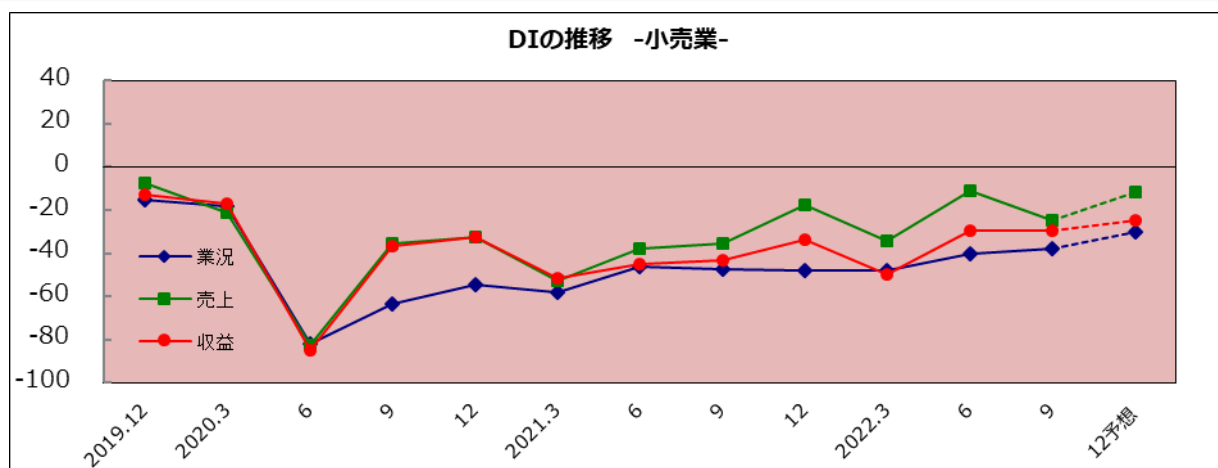
ガソリン、家電機器で改善、時計・眼鏡で悪化した。

12 業種中・・・業況改善 2 業種 / 業況横這 9 業種 / 業況悪化 1 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
飲食料品 (24社)		-61 (↓)	-48 (↑)	-45 (↑)	-42 (↑)	-42 (→)	-42 (→)
衣服身回品 (15社)		-73 (↑)	-87 (↓)	-73 (↑)	-60 (↑)	-60 (→)	-47 (↑)
飲食店 (11社)		-91 (↓)	-64 (↑)	-70 (↓)	-55 (↑)	-55 (→)	-27 (↑)
スーパー・コンビニ (9社)		0 (↑)	0 (→)	-22 (↓)	-22 (→)	-22 (→)	0 (↑)
自動車 (8社)		-25 (↓)	-38 (↓)	-25 (↑)	-38 (↓)	-38 (→)	-38 (→)
ガソリン (6社)		-50 (↓)	-67 (↓)	-67 (→)	-17 (↑)	50 (↑)	50 (→)
家電機器 (4社)		75 (↑)	25 (↓)	-25 (↓)	-50 (↓)	-25 (↑)	-25 (→)
書籍・文具 (3社)		-33 (↓)	-33 (→)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
医薬品・化粧品 (3社)		-67 (→)	-33 (↑)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品 (2社)		50 (↑)	50 (→)	-50 (↓)	-100 (↓)	-100 (→)	-100 (→)
時計・眼鏡 (2社)		-100 (↓)	-50 (↑)	-100 (↓)	-50 (↑)	-100 (↓)	-100 (→)
木材建築材料 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-100 (↓)	-100 (→)	-100 (→)
その他 (4社)		-50 (→)	-83 (↓)	-60 (↑)	0 (↑)	-50 (↓)	-50 (→)

調査員のコメント

- ・現在の小売業のみの業態から、商品の配達サービスまで行うなど、新たなビジネスモデルへの転換を図っている。 (飲食料品)
- ・ガソリン価格の高騰が続いており、顧客の EV へのシフトを懸念している。 (ガソリン)
- ・半導体不足による家電製品の価格高騰や品薄は改善傾向にあり、受注が増えている。 (家電製品)



●3 四半期ぶりの改善

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の8.8%で前期(8.8%)から横這い、「悪い」は28.1%で前期(40.4%)から▲12.3ポイント。業況判断DIは前期▲32から+13ポイントの▲19となり、3四半期ぶりに改善した。

来期は運輸業、自動車整備・駐車場など3業種で改善、クリーニング・理容・美容で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲19から+1ポイントの▲18と小幅に改善する見通しである。

●今期は7業種中、2業種で改善、1業種で悪化

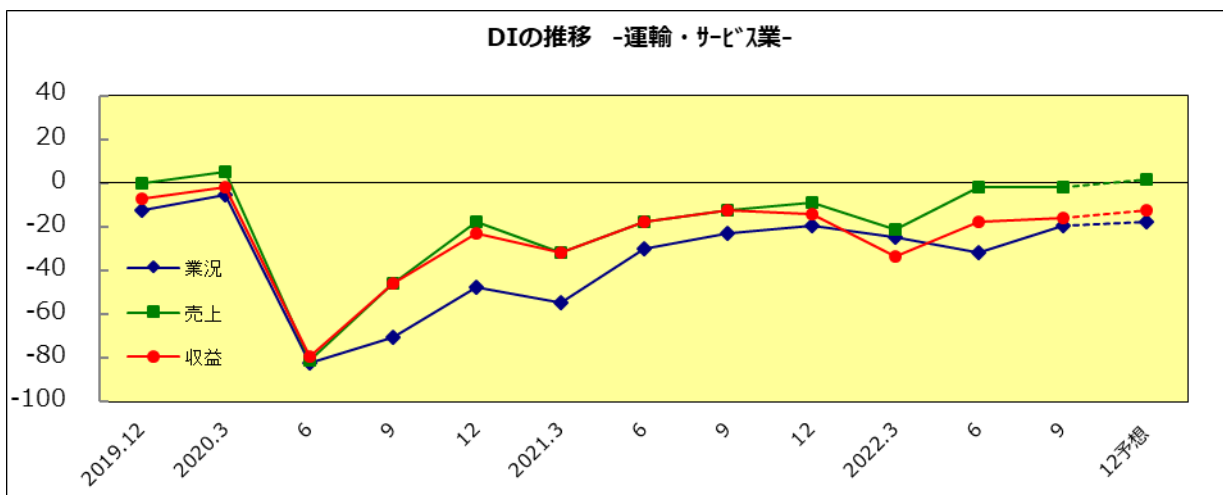
運輸業、情報サービス・調査・広告で改善、修理業で悪化した。

7業種中・・・業況改善 2業種 / 業況横這 4業種 / 業況悪化 1業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
運輸業 (14社)		-43 (↓)	-50 (↓)	-43 (↑)	-57 (↓)	-14 (↑)	-7 (↑)
自動車整備・駐車場 (9社)		-33 (→)	13 (↑)	-11 (↓)	-33 (↓)	-33 (→)	-22 (↑)
クリーニング・理容・美容 (7社)		-29 (↑)	-43 (↓)	-57 (↓)	-29 (↑)	-29 (→)	-57 (↓)
情報サービス・調査・広告 (4社)		0 (↑)	0 (→)	0 (→)	-25 (↓)	0 (↑)	0 (→)
修理業 (3社)		0 (↑)	-67 (↓)	-67 (→)	-67 (→)	-100 (↓)	-67 (↑)
物品賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)
旅館宿泊所 (2社)		-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
その他 (16社)		-6 (↑)	6 (↑)	6 (→)	-6 (↓)	0 (↑)	0 (→)

調査員のコメント

- ・若年層の車離れが加速しており、顧客数の減少を懸念している。 (自動車整備・駐車場)
- ・中古車と新車は納車に時間がかかるため、修理中心に営業している。 (自動車整備・駐車場)
- ・銀行等のネット障害増加に伴い受注が増加し、売上は好調に推移している。 (情報サービス・調査・広告)



●1年ぶりの悪化

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の14.9%で前期(22.4%)から▲7.5ポイント、「悪い」は19.4%で前期(11.9%)から+7.5ポイント。業況判断DIは前期+10から▲14ポイントの▲4となり、2021年7-9月期以来1年ぶりに悪化した。

来期は総合工事、設備工事で改善、職別工事で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期▲4から+8ポイントの+4と改善する見通しである。

●今期は3業種中、全業種で悪化

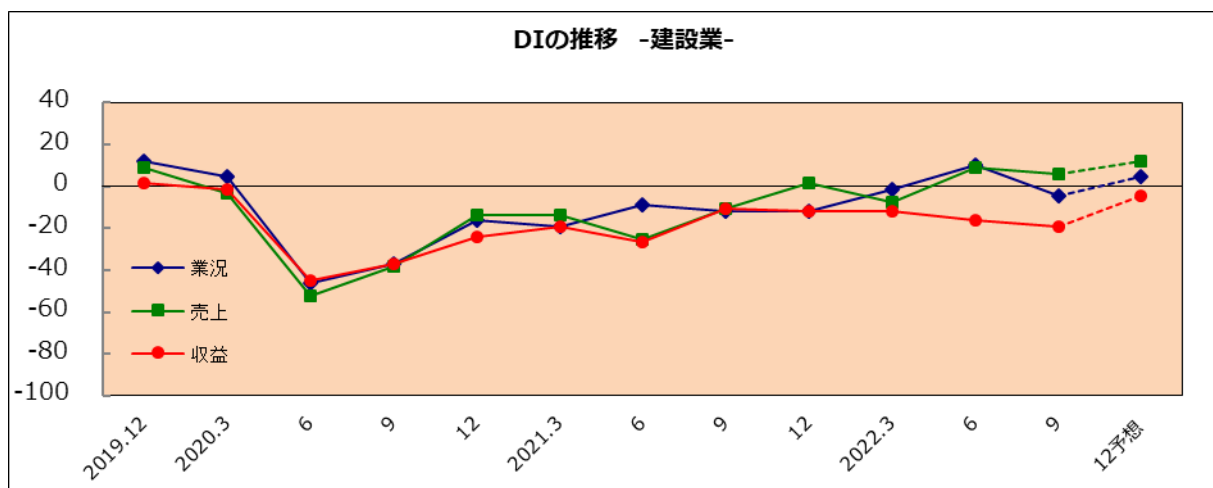
総合工事、職別工事など全業種で悪化となった。

3業種中・・・業況改善 0業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
総合工事	(32社)	-16 (↓)	-10 (↗)	-10 (→)	3 (↗)	-6 (↓)	9 (↗)
職別工事	(20社)	0 (↓)	-14 (↓)	19 (↗)	29 (↗)	0 (↓)	0 (→)
設備工事	(15社)	-20 (→)	-13 (↗)	-13 (→)	0 (↗)	-7 (↓)	0 (↗)

調査員のコメント

- ・金融機関や公的機関からのビジネスマッチングや人材紹介サービス等の支援を期待している。 (総合工事)
- ・見積書の有効期限を1ヶ月に短縮し、材料費の高騰に対応している。 (職別工事)
- ・夏場は学校関連の受注が好調であったため、収益率が改善した。 (職別工事)



●2 四半期ぶりの悪化

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の14.8%で前期(23.1%)から▲8.3ポイント、「悪い」は14.8%で前期(11.5%)から+3.3ポイント。業況判断DIは前期+12から▲12ポイントの0となり、2四半期ぶりに悪化した。

来期は不動産代理・仲介で改善、建売・土地売買で悪化と予想しており、予想業況判断DIも今期0から横這いとなる見通しである。

●今期は4業種中、2業種で悪化

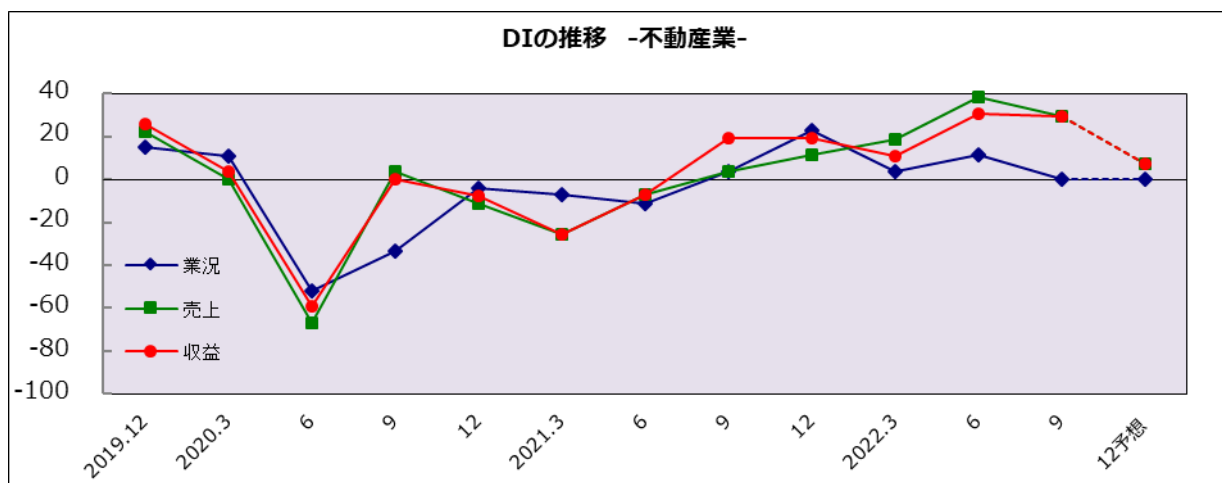
貸事務所・土地賃貸、貸家・貸間で横這い、建売・土地売買、不動産代理・仲介で悪化した。

4業種中・・・業況改善 0業種 / 業況横這 2業種 / 業況悪化 2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期
建売・土地売買 (13社)		18 (↗)	8 (↘)	23 (↗)	17 (↘)	8 (↘)	-8 (↘)
不動産代理・仲介 (9社)		-20 (↘)	63 (↗)	-33 (↘)	11 (↗)	-11 (↘)	11 (↗)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (1社)		100 (↗)	100 (→)	100 (→)	0 (↘)	0 (→)	0 (→)
その他 (2社)		0 (↗)	-50 (↘)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・住宅の着工数は増加しているものの、必要な部品の品薄により電気工事に遅れがみられる。
(建売・土地売買)
- ・材料費の高止まり、物流コストの上昇等のコスト増加要因が多く、また販売価格に転嫁しにくい状況であり、収益悪化が続いている。
(建売・土地売買)
- ・不動産仲介業は低迷しているが、コロナ禍に始めた解体業の受注は堅調に推移している。
(不動産代理・仲介)



~MEMO~